「風の壁」で飛沫抑える装置

広島の中小、コロナ対策商品続々

医療用不織布ガウンも

広島県の中小企業が、新型コロナウイルスの感染抑制効果と使い勝手の良さを併せ持つ商品やサービスを相次ぎ生み出している。真上へ風を吹かせ「見えない壁」を生み飛沫を防ぐ装置や、抗菌性の高い不織布製の体を動かしやすい医療用ガウンなどだ。斬新な発想や地域力の結集で、感染対策のマイナス面の低減を狙う。

再生資源リサイクルのオリオンテック（広島県廿日市市）は、秒速2㍍の風を真上に吹かせ「空気のカーテン」で飛沫を抑制できる機器を開発、20日に発売する。声をさえぎらないので会話しやすくなるほか、物理的な仕切り板ではないため対面席に酒をついだり料理の取り分けする際の障害物がなくなる。これまで飲食店などの感染対策ではアクリル板をテーブル上に置くケースが多かったが、向かい合う相手の声が聞こえにくくなったり料理の提供の仕方に制約が生じていた。

開発した「モバイルエアーカーテン」はティッシュペーパー箱形の木箱の幅20㌢の長方形の口から真上に風を吹き出し、会話で飛沫が生じても上方に押し上げてその空気は換気扇で室外へ排出できる。スモーク実験で抑制性能も確認できているという。複数台を横に並べて使用でき、3台並べれば幅1㍍の風のカーテンを生み出せる。モバイルバッテリーを電源にできるため、自由に設置場所を選べる。

ティッシュペーパーが直立する強さの秒速2㍍の風で「壁」を生み出す（オリオンテックの島田社長）

抗菌性の高い不織布でつくった医療用ガウン

多くのメーカーが手掛ける従来のエアーカーテン装置は、「上から下」への送風により店舗入り口でエアコンの冷・暖気を外に逃がさないようにすることなどが主用途で、「下から上」へ風を送り出すタイプはなかった。オリオンテックの島田正春社長は「逆転の発想」で真上への送風が仕切り板の代わりになるのではと7月に開発に着手、仕組みについて8月に特許を申請した。「木材産業の街」として廿日市産を打ち出すため市内の木材業者から容器を調達、送風装置も地元業者に製造を委託した。

価格は1台3万9000円で、雰囲気を崩したくないとする結婚披露宴会場や高級料亭、ライブハウスでの利用を見込み月間100台の販売をめざす。安価に導入できるレンタルの仕組みも検討している。「見えない仕切り」のため半信半疑の見方をされそうだが、信頼をつかむことができれば活躍の場面は広がりそうだ。

一方、車部品搬送容器メーカーの広島ピーエス（東広島市）が開発したのはウイルス感染リスクを低減する効果が高い不織布製の動きやすい医療従事者向けガウン。県立総合技術研究所の協力で体の疲れを生じさせにくい仕様を研究、医療従事者に試着してもらい着心地の感想を反映して開発した。廉価タイプで5枚入り2500円。取引先の車部品縫製会社と組み11月から製造・予約販売を始めた。同社は「地場産業の力を結集して地域の医療機関を支えたい」と話す。

このほか広島県内ではKAMCO（廿日市市）などがミストを噴霧するだけで室内をまるごと除菌し長期間の抗菌効果を保つサービスを始めている。天然成分を使うので机のパソコンなどを保護しておくなどの対策は不要で、施工後はすぐに室内を使えるという。

「後継者不在」7割超

中国5県企業 上位に山陰・山口

民間調べ

帝国データバンク広島支店がまとめた後継者問題に関する企業の実態調査によると、中国5県に本社を置く企業の後継者不在率は70・8%だった。前回調査（2019年12月）と比べて0・3㌽上昇。全国9地域では北海道に次いで2番目に高い水準となった。経営者の高齢化や人材不足を背景に、特に小規模事業者での後継者不足が深刻となっている。

岡山県を除く4県が10位以内に入った。鳥取県が全国2位、山口県が3位、島根県が4位、広島県が8位だった。岡山県は23位と全国平均（65・1%）を下回った。

業種別では「建設業」の後継者不在率が76・2%と最も高かった。「サービス業」、「不動産業」、「小売業」はいずれも7割を超えた。売上高規模が「1億円未満」の企業では79・3%が後継者不在とした。

後継者が「いる」と回答した企業のうち、対象を「子供」としたのは53・1%だった。同族外への事業承継に関する税制改革は進んでいるものの、対象を「非同族」と回答した企業は24・7%と前回（25・7%）に比べて低下した。

帝国データバンク広島支店の担当者は「地域経済の持続的な発展には、技術やノウハウを持つ企業の存続が不可欠」と話す。

新型コロナウイルス禍で先行きが見えないなかでも、後継者の育成や人材の発掘に向けた道筋をたてることが必要になりそうだ。調査は中国5県に本社を置く1万463社を対象に実施した。

企業の後継者不在率		
順位	都道府県	不在率
1	沖縄	81.2
2	鳥取	77.9
3	山口	75.3
4	島根	73.5
5	北海道	72.4
6	神奈川	72.3
7	秋田	71.4
8	広島	71.3
9	滋賀	69.3
10	岩手	69.0

（注）単位は%

山口県と山口市は地元

参加するタクシー会社 きい」と話した。

パー

菜に

岡山の飲食6店が監修